

令和元年度 教育事業（普及啓発事業、幼児期の運動プログラム普及事業） 親子でお泊まり会（4年目）

1 事業概要

5歳から6歳の年長児とその親子が参加し、スタッフやボランティアの学生と関わり合いながら2日間過ごした。自然の中でいろいろな発見をしたり、楽しそうに野外炊飯の準備をしたりするなど、幼児期の体験活動を推進するとともに家庭での基本的生活習慣の確立に取り組むことができた。



2 事業の目的（ねらい）

幼児期に必要な「36の基本的な動き」を取り入れた運動プログラムの普及促進を図るとともに、「早寝早起き朝ごはん」を中心とした基本的生活習慣の確立を図る。また、親子の絆や参加者同士の親睦を深め、親同士のネットワークを構築することを目的とする。

3 企画のポイント

各プログラムの内容を大学の准教授とともに検討し、時間にゆとりをもたせ、子どもたちの自主性を尊重するようにした。親子や子ども同士で簡単に実践できる活動を多く取り入れたことで、家庭や園での実践を促す効果が期待される。また、同年齢の集団と生活をともにすることで、対人関係におけるコミュニケーション能力の素地が養われると考えられる。

4 主催 独立行政法人国立大洲青少年教育振興機構 国立大洲青少年交流の家

5 期日 令和元年11月9日（土）～10日（日）

6 対象 5歳から6歳の年長児とその保護者

7 参加人数 幼児20名 保護者18名 計38名

8 参加費 保護者 2,250円 幼児 1,650円

9 講師 出原 大 氏（松山東雲女子大学 准教授）



10 日 程

13:00	13:30	14:00	15:00	17:30	18:30	20:00
受付	オリエンテーション	アニマル運動プログラム	ときが森探検隊	夕食 はじめてのバイキング①	入浴 自由時間 就寝準備	就寝
6:30	7:30	9:00	12:00			
起床 清掃	朝食 はじめてのバイキング②	野外炊飯体験 ピザ作りに挑戦	解散			



11 活動内容

【1日目】

「アニマル運動プログラム」

36の基本的な動きを取り入れたアニマル運動プログラムを親子で行った。サーキット運動では、幼児に、平均台やマット、トランポリンなどの用具を選ばせ、工夫したコースを作らせた。体を動かす心地よさを味わうとともに、基本的な体の動きを身に付けることができた。

「ときが森探検隊」

出原先生の指導のもと、施設敷地内にある自然豊かなときが森を舞台に、葉っぱビンゴやハイキング、木工クラフト体験を行った。自然と触れ合いながら様々な体験を行い、新たな発見や感動を伴う充実した時間を過ごすことができた。

【2日目】

「野外炊飯体験 ピザ作りに挑戦」

栄養のバランスを考えて食材を選んだり、安全に気を付けて包丁を使ったりするなど、班で協力して取り組むことができた。炭や薪を使って火を扱う体験も行った。

12 参加者の声

参加者の事後アンケートの結果を以下に示す。

*満足：94.0% *やや満足：6.0% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

- 山に入ることがなかなかできなかったのが、楽しめました。
- 班の行動をもう少し増やした方がもっと交流できると思う。

13 事業の成果

今年度は、南予地区の全ての年長児にチラシを配布した。その結果、遠方からの参加者もあり、活動内容を幅広く広報できたと思う。

親子で一緒に体験することを通して、家庭で運動したり、豊かな自然に触れたり、料理をしたりするきっかけとなり、幼児期の体験活動の推進、基本的な生活習慣の確立に努めることができた。

14 事業の課題

体験活動をさらに充実させるため、子どもたちの実態に応じた活動内容を考えるとともに、班での活動を増やし参加者同士の交流を深められるようにしたい。

(担当：企画指導専門職 村中 昭広)